

事業名	森林災害予防事業費			調書番号	63
細事業名	森林保全管理推進事業費	財務コード	014602		
担当部課室	森林環境部 部 森林整備 課 森林育成・保護 担当 (内線)	6163			

I 事業の概要

実施期間	始期 S52 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 入山者の多い森林、砂利等採取区域など	その対象をどのような状態にして 巡視活動により、森林火災の早期発見による被害の拡大防止、違法な採取等が防止されている	結果、何に結びつけるのか 森林の保全管理
内容	①森林保全巡視指導員、推進員の委嘱(計110名) ②巡視活動 ・森林火災、違法な立木の伐採や開発行為を確認した場合の林務環境事務所長への報告、入山者に対する火気使用に関する指導等 ・違法な砂利採取や採石行為等を確認した場合の行為の中止の指導及び林務環境事務所長への報告		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	年間巡視日数	目標	700	700	1,268	1,268	1,268	1,268
		実績(見込)	416	460	1,103	753	1,268	1,268
		達成率	59.4	65.7	87.0	59.4	100.0	100.0
		達成区分	c	c	b	c	b	b
成果指標	人為的な森林被害に対する指導・取締件数割合(件数/日数)	目標	0.05	0.04	0.07	0.06	0.02	0.04
		実績(見込)	0.07	0.03	0.01	0.04	0.01	0.01
		達成率	71.4	133.3	700.0	150.0	200.0	400.0
		達成区分	c	a	a	a	a	a
決算(予算) 単位:千円		1,664	1,840	3,483	2,395	3,985	3,985	3,985

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	平成30年度の目標は、平成27年度の実績値0.03から0.01減少させるとして、0.02とした。達成率については、目標0.02に対して実績0.01となり、目標は達成しており、一定の森林被害の防止効果があったものと考えられる。
成果指標	a		

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	森林保全巡視指導員に対する研修会を実施することにより、適切な指導・取締等ができる。また、例年森林火災が多い地点を重点的に巡視することで、より一層の成果向上が可能であると思われる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	違法な立木伐採や開発行為、ゴミ投棄などを抑止するとともに、県民への山火事防止、森林保護の意識の普及啓発を強化するため、効果的な事業の実施、森林保全巡視指導員の資質向上を図る必要がある。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	森林保全巡視指導員を対象とした研修会を実施するとともに、例年森林火災が多い地点を巡視重点地域として、情報提供を行うこととする。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。